

トップメッセージ

『ハイヤーパーパス—革新的な組織創造のための8ステップ』 翻訳にあたって

株式会社ウェイアンドアイ
代表取締役

栗野 智子 Tomoko AWANO

本書は、これからの時代に求められるハイヤーパーパス経営の指南書となっています。ハイヤーパーパスとは、「より高次の組織の存在意義」という意味で、自社の利益のみならず社会や環境などより高いレベルで世界の役に立っていく経営を目指す企業を応援する本です。サステナビリティ経営などが求められる今、すべての企業に読んでいただきたいと思っています。

ハッピーな組織づくりにつながるポジティブ組織研究で世界を牽引されてきたミシガン大学のロバート・クイン先生と経済学で数々の賞を受賞しているアンジャン・タコール先生がタッグを組んで、長年にわたり研究や調査を重ねながら蓄積された内容をまとめた本となっています。学術的な内容ばかりではなく一般の読者にもわかりやすいように事例をふんだんに載せてあるため、イメージがしやすく仕上がっています。

なぜこの本に出会ったのかというと、私が研究活動で行き詰っている時、クイン先生の友人であるミシガン大学のキム・キャメロン先生に相談したところ、「あなたの研究と近い内容を研究している友人を紹介します」というメッセージをいただき、クイン先生方とこの本を紹介してくださいました。読み進めるうちに、自分が試行していたマネジメントの経験や研究してきた内容と重なって、涙が止まりませんでした。

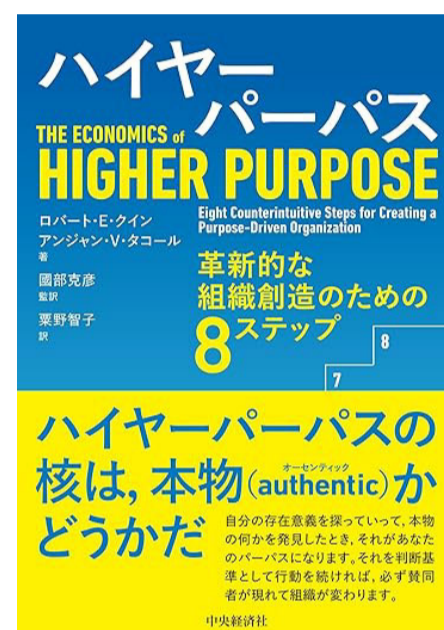
ぜひ翻訳させてほしいとすぐにお願ひしたのは言うまでもありません。

その後、『利他の構造』の共著者である中尾悠利子先生の紹介で、神戸大学の経営学研究科長の國部克彦先生に出会い、この本に興味を持っていただき監訳をお願いすることができたことも幸運な出来事でした。翻訳活動を通じて、これらの先生方と意見交換ができたことも私にとっての貴重な経験となり、今後の財産となると確信しています。今まで、自分が取り組んできたことは意味がなかったのではないかと自信を失う時もありましたが、先生方との交流から確信となったことや学ばせていただいたことを今後のお役立ちの活動に活かし、精一杯恩返しをしていきたいと考えています。

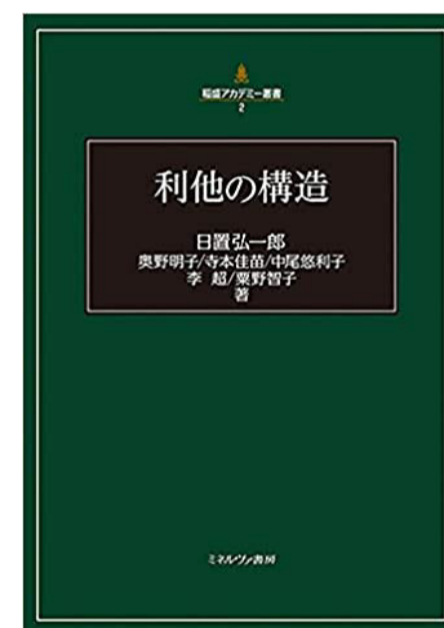
特に、日本の組織においては、企業理念やパーパスを浸透させるという文化が根強かったのですが、それでは個人の自発性や能動性が引き出せず、社員の同一化から抜けられず、今求められている新しい価値の創造につながっていきません。また若手社員の採用と定着化が課題となっている昨今において、魅力的な組織づくりは企業が取り組む喫緊の課題となっています。そのような組織づくりのためにも、主体的、能動的個人を前提としたハイヤーパーパス経営は、これからの時代に益々求められてくるに違いありません。今こそ、働く個人がイキイキと自分らしく働き、幸せや充実感を感じられる組織が求められています。

幸せや充実感を感じられる魅力ある組織づくり、これまでのやり方にこだわらず、ユニークな価値を創造していく組織に興味のある方、自分らしく、イキイキと働ける人や組織づくりに興味のある方、サステナブルな世界を創っていくことに興味のある方は、ぜひお声がけください。

オンリーワンで未来を創るハイヤーパーパスな活動を共に推進していきましょう!



Amazonサイトでご購入



Amazonサイトでご購入